

参考文献の記述方法について

1. 文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1～5)、1,3～5)などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。

2. 参考文献リストのフォントについては、下記の通りとする。

原稿が和文のときの参考文献リストのフォントの大きさ：10 ポイントを用いる。

原稿が欧文のときの参考文献リストのフォントの大きさ：10 ポイントを用いる。

和文のフォントスタイル：明朝体。

欧文のフォントスタイル：Century, Roman, Times Roman, Times New Roman のどれかを使用する。

配置： 1 段組とし、印刷時に印刷所が 2 段組みで製版する。

3. 参考文献リストの記述形式は、下記を参考とする。

3.1 雑誌中の論文：

著者 1, 著者 2, 著者 3：論題, 掲載誌名, 巻(号), 開始頁-終了頁, 出版年.

巻(号)の号については、学会の慣例によって巻のみとしても良い。

(和文誌の記述例)

千科大太郎, 岡理大太郎：銚子市における薬剤師の育成について. 月刊薬剤師教育, 108(8), 55-70, 2012.

(特集記事の記述例)

岩坂康信：特集, 東アジア環境共生系：黄砂は何を運んでくるのか. 科学, 78(7), 729-735, 2008.

(欧文誌の記述例)

Yamada T, Yamada H, Chikadai T：Affair of the educational programs on emergency management at the Chiba Institute of Science. Education in Japan, 5(11), 111-120, 2012.

3.2 単行本の場合（1冊全てを参考文献とした場合）：

著者 1, 著者 2：書名. 出版社名, 出版地名, 出版年.

(単行書 和書)

千科大太郎, 岡理大太郎：銚子市の薬剤師育成を考える. 桜出版, 東京, 2012.

日野原重明監訳：臨床決断分析. 医歯薬出版, 東京, 1992 (Weinstein MC, Finberg HV：Clinical decision analysis. WB Saunders, Philadelphia, 1980).

(単行書 洋書)

Chikadai T, Smith G：Emergency management. SpringWorks, Washington D.C., 2012.

3.3 単行書中の 1 章又は一部の場合・論文集（単行本）中の論文の場合

(特定のページあるは特定の 1 章・1 論文を利用した場合)：

著者 1, 著者 2：“章の見出し or 論文名”, 書名. 編者名. 版表示, 出版社名, (出版地名,) 開始頁-終了頁, 出版年, (シリーズ名, シリーズ番号).

(和文単行書中の 1 章の場合)

千科大太郎：“銚子市の薬剤師育成”, 薬剤師とその育成. 桜出版, 東京, 170-220, 2012.

(英文論文集)

Harrison BR：“Risks of handling cytotoxic drugs”, The Chemotherapy source book. Perry MC, ed. 3rd ed., Lippincott Williams & Wilkins, 566-580, 2001.

Ito K：“The geist in the institute：The production of quantum physicists in 1930s Japan”, Pedagogy and the practice of science. Kaiser D, ed. MIT Press, 151-184, 2005.

3.4 学会抄録集等の場合

著者名：“論文名”. 会議報告書名. 会議開催地, 会議開催年月, 会議主催機関名. 出版者, 出版年.
(国内の学会の場合 抄録集すべてを利用した場合)

第 79 回日本整形外科学会学術総会抄録集. 横浜, 2006-05-18/21.

(国際学会の場合 特定の 1 発表を利用した場合)

Arnold A: “Gateways to chemical information - the MetaChem and Janus Projects down-under”. ChemInt'99. Washington D.C., 1999-09.

出版者は、会議主催機関名と同じ場合は省略してもよい。出版年は、会議開催年と同じ場合は省略してもよい。

3.5 新聞記事の場合

著者名：記事タイトル. 新聞名, 地域版名. 朝夕刊の別や版, ページ or 面, 掲載日付.
(和文誌)

泊次郎：CO₂ の影響か自然変動か 温暖化、解明これから（気候大変動）. 朝日新聞. 夕刊, 科学面, 1999-04-02.

東大・早大など、9 大学学長が緊急提言、研究費減に危機感. 日本経済新聞. 朝刊, 46, 2010-03-19.

(欧文誌)

Partlow J, Wilson S: Obama presses Karzai for cooperation : FIRST VISIT AS PRESIDENT U.S. wants government cleanup in Afghanistan. The Washington Post. A01, 2010-03-29.

3.6 ウェブサイト中の記事の場合

著者名：“ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).

内閣府編：交通安全白書. 平成 17 年版, 2005. <http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/index-t.html>, (参照 2006-03-07).

Mabon SA, Misteli T: Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. PLoS Biol, 3(11), e374, 2005. <http://biology.plosjournals.org/perlserv/?request=get-document&doi=10.1371/journal.pbio.0030374>, (cited 2006-03-09).

ページ付けが無いので論文番号(e374)を記述, 入手先として URL を記述

4. 記述上の注意:

- ① 和文の場合、著者名の姓名の間は空白をあけない。欧文の場合、著者名は“姓 名”の順に記述し、姓名の間は半角スペースをあける（名はイニシャルのみの表記でも良い）
- ② 執筆者名の記載人数は制限を設けませんが、4 名以上の場合は 3 名以上を記載し、それ以上の執筆者名について、和文の場合は“他”と、欧文の場合は“et al.”と略しても良い
- ③ 和文・欧文を問わず、次の区切り記号（. , ）（ピリオド カンマ）は半角表記＋半角スペース 1 字とし、（: ）（コロン）は半角スペース 1 字＋半角表記＋半角スペース 1 字とする
※ 論文・著書リストと記載方法が異なるので、注意すること。
- ④ 次の記号（-（））（ダッシュ 右括弧 左括弧）は和文・欧文を問わず半角表記とする
- ⑤ 和文・欧文を問わず、単行本の書名は略記せずに正式名を記述する
- ⑥ 掲載誌名については、和文誌名は省略せず完全誌名を記述する。欧文誌名は、国際規格に従った略記、または略記せずに完全誌名を記述する。
- ⑦ 掲載誌名や巻号を太字あるいは斜字にすることは不要である。
- ⑧ 日付を書く場合は、YYYY-MM-DD とする。議事録などの期間を書く場合は、DD/DD とする。